

平成25年10月19日(土)

# 第19回全国報徳サミット

## 秦野市大会を開催します！



問い合わせ

第19回全国報徳サミット秦野市大会実行委員会事務局  
(秦野市教育委員会教育部生涯学習課内)

TEL0463-84-2792 FAX0463-83-4681

## ◆全国報徳サミットとは？

二宮尊徳にゆかりがある「全国報徳研究市町村協議会」に加盟している18市町村が集まり開催されるのが「全国報徳サミット」です。平成25年度は秦野市で開催されます。

尊徳の教えである報徳仕法の検証を通して、これからのまちづくり・ひとづくりに必要な取り組みを学ぶために毎年開催されており、来年度19回目で、秦野市で開催されるのは初めてとなります。

## ◆大会概要

日 時 平成25年10月19日（土）

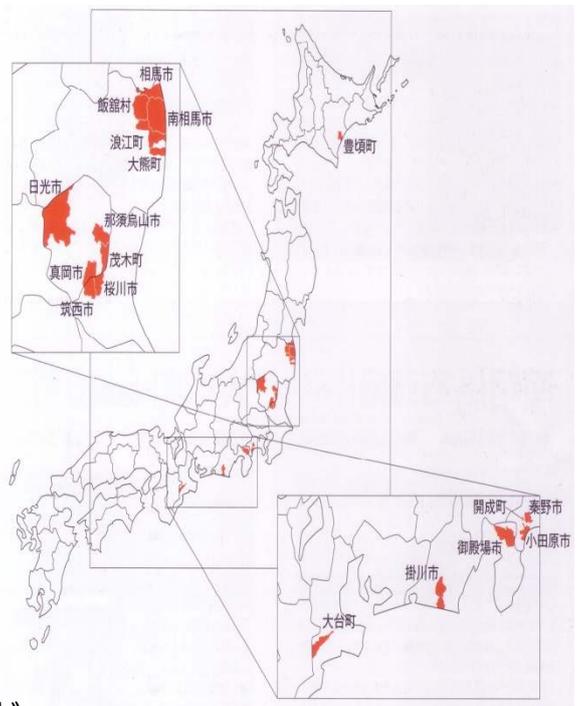
会 場 秦野市文化会館大ホール（秦野市平沢82）

## ◆加盟市町村は全国18市町村

- 【北海道】 豊頃町
- 【福島県】 相馬市・南相馬市・大熊町・浪江町・飯舘村
- 【茨城県】 筑西市・桜川市
- 【栃木県】 日光市・真岡市・那須烏山市・茂木町
- 【静岡県】 掛川市・御殿場市
- 【三重県】 大台町
- 【神奈川県】 小田原市・開成町・秦野市

## ◆全国報徳サミットの内容

基調講演、アトラクション、参加首長のまちづくりパネルディスカッションなど



# にのみやそんとく 二宮尊徳



二宮尊徳の生家（神奈川県小田原市）



油菜栽培地跡（神奈川県小田原市）



桜町陣屋跡（栃木県真岡市）

二宮尊徳は、天明7年（1787）7月23日、相模国栢山村（現小田原市栢山）の二宮家の長男として生まれました。両親を早くに亡くし、親戚に預けられるなど苦勞の連続でした。

しかし、尊徳が24歳にして二宮家の再興を果たすと、その評判が高まり、37歳のときには、小田原藩主大久保忠真より下野国桜町領（現栃木県真岡市）の復興を依頼されました。

尊徳は、その功績が認められ、幕府直属の役人となり、全国610カ所の藩や郡村の復興を成し遂げました。

## 二宮尊徳の教え「報徳思想」とは？

二宮尊徳は次の教えを広め、多くの藩や郡村を復興しました。

### 積小為大（せきしょうだい）

小さな努力や工夫の積み重ねが大きな収穫や発展につながることを

### 至誠（しせい）

まごころを尽くすことを

### 勤勞（きんろう）

物事をよく観察・認識し、社会に役立つ成果を考えながら働くことを

### 分度（ぶんど）

自分の生活や立場、状況に合った生活をすることを

### 推讓（すいじょう）

勤勞・分度により、生じた余剰・余力の一部を子孫や社会のために譲ることを



# あぐいしょうしち 安居院庄七



安居院庄七は、二宮尊徳の報徳仕法を広めた功労者で、寛政元年（1789）に相模国蓑毛村（現秦野市蓑毛）で生まれました。

庄七は、米穀商を営んでいましたが、多額の借金を作ってしまったため、二宮尊徳に借金を申し込みに下野国桜町領（現栃木県真岡市）に向かい、報徳思想を知りました。桜町から秦野に戻った庄七は、尊徳の教えを実践し、家業と村の建て直しに成功しました。

その後、庄七が関西から遠州（現静岡県西部）で布教活動をしたことにより、現在の浜松・掛川方面では、多くの結社が組織されました。明治44年（1911）には、掛川市に大日本報徳社本社が設置されることとなります。今でも庄七は「遠州報徳の祖」として頌徳碑が建立されるなど、彼の遺志が受け継がれています。

大正7年、従五位に叙せられた記念として、秦野市立本町小学校に記念碑が建立されています。



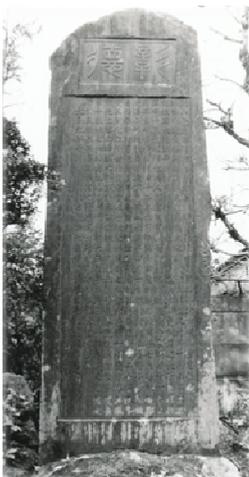
安居院庄七頌徳碑  
（静岡県浜松市）



安居院庄七頌徳碑  
（本町小学校）



草山貞胤頌徳碑  
（秦野市平沢出雲大社）



草山貞胤頌徳碑  
（秦野市平沢御嶽神社）

## くさやまさだたね 草山貞胤



草山貞胤は、文政6年（1823）に相模国平沢村（現秦野市平沢）で生まれました。草山家は代々、神職を勤めていました。

貞胤は若い時から多趣多能で、特に煙草栽培に興味を持ち、苗の植え方、苗床の研究で成果を上げ、数々の賞を受賞し、秦野煙草の名声を高めました。

貞胤は36歳の時に神職となり、小田原の報徳二宮神社の創建に際しては、自分の財産を処分し、資金を充てるなどして尽力されました。貞胤が71歳のときには、報徳二宮神社の初代社掌に就任しました。

昭和55年に実施された、県史上活躍した「かながわの100人」では、貞胤は報徳を広めた功労者として、二宮尊徳、福住正兄、安居院庄七らとともに選ばれています。